

新潟市秋葉区社会福祉協議会

# 秋葉区社協だより

Vol.40

2022.03.27 発行



当日はあそびや  
交流のスペースを  
用意しました



絵本の読み聞かせで親子のほっこりタイム



## 荻川地区活動紹介

### — 荻川子ども食堂 —

令和3年12月25日（土）2年振りに「荻川子ども食堂」を再開しました。子どもの居場所、地域との交流に親しんでもらいたいと始まった食堂です。回数を重ねてノウハウも身に付きかけた矢先に、コロナ禍のため、休止していましたが、「何か行動を」という想いで相談を重ね、再スタートしました。

みんなそろって「いただきます!」のカレー食堂は開けませんでしたが、「おにぎり弁当」とご寄付をいただいたみかんや、お菓子のおみやげを持ち帰つてもらい、久しぶりに子どもたちの笑顔が見れて嬉しかったです。以前のように大勢で会食できる食堂が開けることを願っています。

（荻川コミ協 副会長 加納さん）

### 主な内容

- 支え合いのしくみづくりリレートーク 特別編  
『地域福祉実践報告会』について
- おせち料理配食事業の紹介
- ひとり親世帯向け食料支援の報告
- 秋葉区社会福祉協議会社会福祉功労者表彰
- 地域福祉推進フォーラムの報告
- 西部地区福祉懇談会の紹介
- 賛助会員報告

### 今回の特集

支え合いのしくみづくり推進員（SC）による『支え合いのしくみづくりリレートーク』の特別編として、『地域福祉実践報告会』についてご紹介します。

中も読んでね  
→

# 支え合いの しくみづくり リレートーク

特別編



今年度は配信でご覧いただけます!

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定していた内容をインターネット配信します。秋葉区社会福祉協議会ホームページのお知らせ欄からダウンロードのうえご覧ください。



秋葉区社会福祉協議会  
ホームページ

秋葉区社会福祉協議会



DVDも用意しています。貸出を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までご連絡ください。

基調講演

「地域の未来の描き方—持続可能な共生社会をめざして—」

大正大学地域創生学部 准教授 金子 洋二様

実践報告

新栄町町内会

会長 小松 茂夫様  
総務部長 山田 和宏様

小口自治会まちづくり委員会

会長 渡辺 淳様  
委員 井田 あつ子様

小合地区社会福祉協議会

副会長 田村由美子様  
幹事 鈴木 弘英様



## 新栄町町内会



お宝探検ラリーで多世代交流

### いきいき新栄町『見つける・伝える・つなげる』

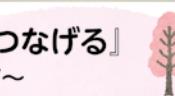
～防災に活きる支え合いをめざして～

私たち新栄町町内会では、となり組単位で安否確認訓練（震度7の地震を想定）を実施しています。もしもの災害時には、日頃の住民同士のつながりと情報共有が重要であると考え、町内の子どもたちから高齢者まで皆が顔見知りになれるよう様々な交流事業や美化活動を毎年企画しています。

コロナ禍で祭りや運動会が休止となるなか、知恵を絞り、三密にならない「お宝探検ラリー」で、多くの住民が参加し、住民同士がつながることができました。

また、「新栄町会報」では町内の子どもたちの声や町内の活動が皆さんに伝わるように工夫し、風通しの良い町内会を心がけています。

『皆で手と手を取り合って支え合い、明日の幸せを創り出す新栄町』に向けて、互いに気にかけ合う新栄町町内会でありたいと思います。



ご近所同士の挨拶や、さりげない声かけなどで顔の見える関係づくりが秋葉区全体に広がるといいですね。



支え合いのしくみづくり推進員  
新津第一・第二圏域担当 加藤



安否確認訓練

## 「遠くの親戚より近くの他人」

～支え合い、助け合う地域づくりにむけて～

小口自治会では、自治会長の諮問機関として「小口まちづくり委員会」が設立されており、1期2年で今期は第8次、テーマは「支え合いのしくみづくり」でした。

早速、高齢者世帯を中心に、「できれば誰かに頼みたいこと」「不安に思っていること」などのアンケート調査を実施。結果は、除雪がもっとも多く、次に組長などの役員や当番、他には買物や通院の運転送迎などがありました。

まずは、除雪から取り組もうということで、除雪ボランティアを募り組織を創設。これから実践する中で、見えてくる課題を改善しながら、長続きするやり方を考えていきます。

支え合いのしくみづくりはスタートしたばかり。「遠くの親戚より近くの他人」「もっと隣近所を頼りましょう」と呼びかけ、支え合う意識を高めていきたいと思います。

## 小口自治会まちづくり委員会



- 答申事項(支え合いのしくみづくりとして考えられること)
- ①除雪ボランティア組織の創設
  - ②持ち回りの役員の免除
  - ③ごみステーション当番・ごみ出し・回覧板を廻すこと
  - ④日常的な声かけ(安否確認)
  - ⑤緊急時の連絡体制

支え合いのしくみづくり推進員  
新津第五圏域担当 宮腰

## 小合地区 社会福祉協議会



12月に初めて訪問をしてみて、「また来てね」と声をかけて下さる方がいたり、1時間以上も話し込む方がいたりと訪問を喜んでくれた方が大勢されました。

今後は、この「なじらて訪問」を継続していくよう、各自治会・町内会の役員等が交代するときの引継ぎを徹底しながら、家族表の必要性や回覧板の回し方など地域の課題を共有し、お互いが見守り合い、助け合っていくような地域にしていきたいと思います。



金子先生

まちづくりとは、まちを想う心と「つくる」という自発的な行動が合わさったときに生まれるものです。「まち」には、いろんな思い・資源・場があります。まちづくりを効果的・発展的に進めるために、コーディネートすることが必要です。



支え合いのしくみづくり推進員  
小合・金津・小須戸圏域担当 時田

見守りから助け合いの活動へ広がっていきそうですね。



支え合いのしくみづくり推進員  
秋葉区全域担当 白井

この地域福祉実践報告会が、地域活動に一歩踏み出すきっかけになれば幸いです。秋葉区の地域福祉を進めていくため、今できることから、一緒に取り組んでいきましょう。



# おせち料理配食事業を実施しました

新町1・2・3丁目町内会



新町ふれあい委員会の皆さんによるおせち料理のお届けと声かけは、平成30年からご協力いただいており、今年度で4年目になります。

当日は朝早い時間から委員の皆さん15名がおせち料理を取りに町内会館に集まり、そこから一斉にお届けに向かわれていました。

おせち料理を受け取られた方は大変喜ばれており、身近な地域の方がお届けと声かけをしてくださることで会話も笑顔も弾み、“自分は一人ではない”“見守られている=繋がっている”という大きな安心感を得られているご様子でした。

おせち料理を届けるだけではなく、委員の皆さん同士でもお互いを気遣うように声をかけており、そこには新町内会の連携の取れた支え合う関係性を感じられ、素敵なお顔とあたたかい雰囲気があふれていました。



## ひとり親世帯への食料支援を実施しました！

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、ひとり親家庭のみなさまの、不安な気持ちに少しでも寄り添い子どもの笑顔につながるよう、歳末たすけあい募金を財源とし、お申込みいただいた240世帯に食料品や日用品を無料で配布しました。

実施日 令和3年12月17日(金)・18日(土)

会場 新津地域交流センター3階

箱を開けたときに、「サンタさんからのプレゼントだ」と言って大喜びしていました。自分で買えないお菓子が入っていて子どもの喜ぶ顔が見えて嬉しかったです。



お腹を満たされるのはもちろん、心が温かくなり、明日からまた頑張ろうという気持ちになりました。



多くの方の温かい気持ちでこのような支援を受けることができることに感謝しております。

受け取った方からたくさんの感謝の声が寄せられました。



今回の事業では、多くの企業・団体のみなさまからもご協力をいただきました。

■ 新津商工会議所の会員様  
・タカツカ農園様  
・KASAHARA farm様  
・㈲新潟森林農園様  
・株新潟農園様  
・株サンカンピュール様  
・田家屋様  
・㈲大阪屋商店様  
・㈲羽入様  
・株昭和基地一丁目様  
・新津駄菓子の駅 なつかし屋様  
・株カワマツ  
・いつフードセンター様

■ 株川内自動車様  
■ 秋葉温泉 花水様  
■ ウエルシア薬局様  
■ ファミリーマート新津川口店様  
■ フードパンクにいがた様  
■ (社福) 親和福祉会 コトイロ日和様



準備など、ボランティアのみなさまからもご協力いただきました。

初めての取り組みでしたが、みなさまからご協力をいただいたおかげで、ひとり親家庭のみなさまに温かい気持ちを届くことができました。

## 令和3年度秋葉区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰

秋葉区内において民間社会福祉の増進に貢献し、社会福祉事業の進展に寄与された方々を紹介します。

◇自治会長・町内会長として10年以上勤務し、特に功労のあった者

伊藤 敏明様 中村 信也様 五十嵐 猛様  
井浦 博男様 原田 吉雄様

◇地域福祉活動を10年以上行い優秀な実績を示し、他の模範となる個人、団体または企業

佐藤 弓樹子様 斎藤 順子様  
フリースクールP&T様  
大正琴 韶の会 新津愛好会様  
朗読あきは様  
秋葉かみしばいクラブ「青空」様

令和3年12月5日(日)に開催しました「地域福祉推進フォーラム」においてその功績をたたえ、表彰状を贈らせていただきました。



## 地域福祉推進 フォーラム報告

令和3年12月5日(日)  
秋葉区文化会館で地域福祉推進  
フォーラムを開催しました。

### 基調講演

持続可能な地域福祉の推進  
一住民の参画と協働による誰もが支え合う地域共生社会の実現を目指して  
新潟医療福祉大学 鈴木 昭 先生



地域のプラットフォーム（地域住民が集える交流拠点）をつくっていくことがSDGsにも取り組むことであり、一人ひとりが緩やかな形で様々な地域の行事に参加できるようなしくみをつくることが大切です。これらは生きがいや自己実現の道筋となり、人と人とのつながりをつけていきます。人と人とのつながりは地域の財産です。生きがい×地域づくり=地域共生社会の実現ということを学びました。

### 活動報告

#### 子ども食堂秋葉かけはし

職場で「子どもの貧困」について学習会を開いたことをきっかけに、給食を食べられない子どもがいることを知り、「待つだけでは状況は変わらない。何かできないか。」という思いから、子どもも食堂を立ち上げることになりました。立ち上げるにあたり、多くの苦労がありましたが、現在はボランティアや様々な団体からの協力により、子どもにとどまらず高齢者も含めて色々な世代の人たちとの交流の場所になっています。

コロナ禍の影響で、今までとは違った形での開催になってしまいますが、誰でもホッとするそんな居場所をめざして活動を続けていらっしゃいます。



皆さんに行っている 地域の茶の間・いきいきサロン、声かけ見守り活動、世代間交流・防災訓練、クリーン作戦、自学ひろば、子ども食堂などの地域福祉活動がSDGsにつながっています。

## 地域福祉計画・地域福祉活動計画をすすめています

本計画は、社会福祉法第107条に規定される「市町村地域福祉計画」に位置づけられるものです。今回が第三期の計画策定となり、2021年から2026年の6か年計画として、区内の各地区で策定にご協力いただきました。

今年度は第三期計画実施の初年度として、懇談会を開催した地区があり、まずは策定された地域福祉活動計画の確認・周知に努めるとともに今後の活動の進め方等を話し合いました。

今回は、新津西部地区の懇談会の様子をご紹介します。

### 新津西部地区福祉懇談会 令和3年12月8日(水)

新津西部地区では、コミュニティ協議会を中心に、町内会長や民生児童委員13名、秋葉区健康福祉課と秋葉区社協が集まり、地域福祉活動計画について話し合いました。

「地域みんなが家族、支え合い、助け合い、見守り合う町を築こう！」をスローガンに掲げ、基本目標『安心で安全な地域づくり』を中心に、個人情報取扱規程に基づいた災害時の避難所運営について等、活発に意見交換しました。

今後は、各町内会が活動計画に基づいた具体的な取り組みを作成し、コミ協が集約します。それを町内会にフィードバックし、互いの活動を共有しながら西部地区の活動計画を進めていくことにしました。コミ協・町内会・民生児童委員が一体となり、地域福祉活動計画の実現に向けて動き始めました。



令和4年度

ボランティア登録とボランティア活動保険を  
受付中です。

受付中

### ボランティア登録

- ご希望の活動依頼があったときに活動をご紹介します
- 「ボラフル」等のボランティア情報をお届けします
- ボランティア活動保険に加入することができます

ボランティア登録票は、秋葉区社協のホームページからダウンロードできます。

### ボランティア活動保険

保険に加入して安心して活動しよう！

日本国内でのボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償を補償する保険です。

#### 令和4年度 ボランティア活動保険

年間保険料	基本プラン	天災・地震保険プラン	特定感染症重点プラン
350 円	500 円	550 円	
地震・噴火・津波によるケガ	×	○	○
特定感染症	補償開始日から 10 日以内は補償対象外(※)		初日から補償

■ 従来のプランに加えて「特定感染症重点プラン」新設されます。

令和4年度に新規でボランティア活動保険に加入し、すぐに活動される場合には「特定感染症重点プラン」への加入をお勧めします。

\*前年度から継続して加入し、3月31日まで手続きを完了された場合は従来のプランで初日から補償されます。

詳しくは、秋葉区ボランティア・市民活動センターまでお問い合わせください  
秋葉区ボランティア・市民活動センター TEL0250-24-8345

## 善意のご寄付 あたたかいご寄付をありがとうございました

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。(令和3年9月1日～令和4年2月28日)

寄付者氏名(敬称略)	寄付金額・物品	寄付先
田家3丁目婦人会	5,000円	秋葉区社協
秋葉温泉 花水	188,248円	秋葉区社協
渋谷一座	10,000円	秋葉区社協
程島町内会	2,910円 野菜 6種類	秋葉区内子ども食堂
(株)ダイナム新潟新津店	食料品・雑貨・玩具	秋葉区内子ども食堂・病児保育室
匿名	玄米 30kg × 1袋	秋葉区内子ども食堂
匿名	玄米 30kg × 2袋	秋葉区内子ども食堂
匿名	白米 30kg × 2袋	秋葉区内子ども食堂
匿名	白米 30kg × 1袋	秋葉区内子ども食堂

### ダイナム新潟新津店様より寄付 ～ありがとうございます～

秋葉区にあるパチンコ店「ダイナム新潟新津店」様より、玩具や食料品等の寄付をいただきました。「日々地域の皆様に支えられており、秋葉区の子育て支援に何か貢献できれば」というダイナム様の思いからこのたびの寄付となりました。

いただいた寄付物品は、区内の子ども食堂4か所と病児保育室「きしゃぽっぽ」に贈られました。



## 賛助会員にご加入いただき、ありがとうございました

企業・団体・個人の皆さんから賛助会員にご加入いただきました。

（令和4年3月現在）	(敬称略・順不同)
●株式会社越配	
●みらいホームヘルスケア	
●有限会社春日薬局	
●株式会社樹形屋	
●株式会社甲田石油店	
●土田石油株式会社	
●新潟観光開発株式会社	
●大建建設工業株式会社	
●新津商工会議所	
●有限会社石澤製作所	
●株式会社フジエム新津	
●新津さつき農業協同組合	
●小出耳鼻咽喉科	
●有限会社ケアプライドリーむ	
●越後天然ガス株式会社	
●株式会社ロビデンス	
●株式会社坂電工業	
●北上 善郎	
●田中 義夫	

秋葉区社協だよりの郵送申込みを受け付けております。

秋葉区にお住まいの方で新聞未購読等、秋葉区社協だよりが届いていない世帯で郵送を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までお申込みください。

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

# 秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町 1-2-39

TEL : 0250-24-8376 (代表) FAX : 0250-23-3322

TEL : 0250-24-8345 (秋葉区ボランティア・市民活動センター)

URL : <http://niigataakihaku-syakyo.jp/>

秋葉区社会福祉協議会

検索

ホームページ  
も見てね

